

作家名

西村 陽平



作家詳細

タイトル

## FIRED BOOK

制作年: 2018~2020年、材質:本

コメント

本を焼く。本は紙であるから、燃えて黒く灰になり、無くなってしまふ、と普通は考える。これは間違いではないが、これだけではない。黒く灰となるのは、焼く温度が500度ぐらいである。さらに1000度以上の高温で焼くと、白くなり本の形が残る。紙により微妙な変化があり、形も様々な様相を呈する。戦後間もないころ発行された文庫本がある。70年を経て、紙は変色してもろくなっていた。これを焼くと、白くなり残る。本は文字が大事だが、文字は消えてしまう。「焼成」とは、時間を圧縮するということだ。ヤマニ綱島商店は100年以上の時を経て、今は使われていない。当時使われていた様々な物が残されている。これらの中に「焼成本」を滑り込ませるように展示する。

### 出前ワークショップ作品

学校名

富来田小学校

タイトル

1本の線をつないで描く

グループ制作

コメント

事前に服など汚れることを想定して準備をしていただいた。特別の服を着て本番に臨んだ児童もいたようですが、まさにほとぼしる絵の具のように、熱気にあふれた作品となった。